



©2005 石塚真一/小学館

第 299 号 (令和5年(2023 年)5月 12 日)

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ
特別隊員

島崎 三步 の「山岳通信」

この通信は長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報提供をしています。(詳細は以下のとおり)

天気・防災情報 <https://www.jma-net.go.jp/nagano/>

信州 山のグレーディング <https://www.pref.nagano.lg.jp/kankoki/sangyo/kanko/gure-dexingu.html>
を確認し万全の準備で入山を！

～春山登山に特化した注意喚起を発信～

長野県警察山岳遭難救助隊公式 Twitter では、「救助隊長からの7つのお願い」として、春山(残雪期)特有の注意喚起を発信しています。https://twitter.com/NAGANO_P_M_R
詳しくは、[春の特別号\(令和5年\(2023 年\)4月 19 日\)](#)をご覧ください。

～滑落による遭難者が急増！データで見る春山登山に潜むリスク～

いよいよ春たけなわ。ゴールデンウィークの残雪登山や新緑・花を愛でるために長野県の山へ出かける人も多いのではないのでしょうか。

実は、春山シーズンは滑落による遭難者が急増。あなたがその当事者になるかも知れません。

<https://yamahack.com/5672> (YAMAHACK 掲載)

長野県警山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス

4 月 5 週は 7 件、5 月 1 週は 15 件の山岳遭難が発生しました。

態様別では滑落が 9 件と最多を占め、うち 3 件が死亡遭難となっています。天候が安定した大型連休ということもあり、各山域で多くの登山者でにぎわい、山岳遭難も前年同期比+24 件と増加傾向にあります。

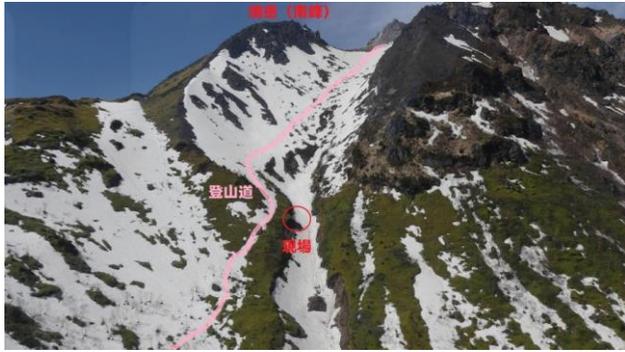
北アルプス槍穂高連峰や後立山連峰等をはじめとする標高の高い山域には、谷筋を中心に雪が残っています。残雪の状況により登山道も変わるため、予定しているコース上に残雪が見込まれる場合は、事前に付近の山小屋等にコース状況を確認するなどしてください。

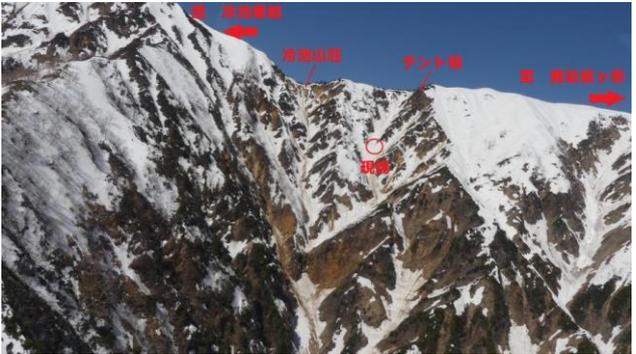
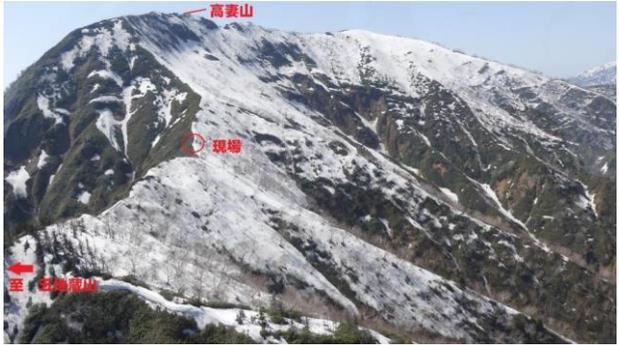
その他、技量不足や装備不足により下山できず、救助隊員が出動する遭難が多発しています。残雪期は、通常の夏山ルートとは異なり沢筋を直登するため、非常に急峻なルートもあります。そのため、アイゼンやピッケルを装備して、安全に正しく使いこなす技術が必要です。

新緑の季節で過ごしやすい時期ですが、高山にはまだまだ残雪があり朝晩の気温差も激しいことから、装備を整え、余裕のある日程で登山を楽しみましょう。

発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
4月27日	甲武信ヶ岳	男	40	負傷	滑落	2人パーティーで千曲川源流遊歩道を登山中、滑落、負傷
27日、4人パーティーで甲武信ヶ岳に向けて千曲川源流遊歩道を登山中の男性(40歳)が、滑落して負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しました。						
4月28日	北アルプス 涸沢	男	44	死亡	発病	2人パーティーで入山し、涸沢でテント泊中、発病
27日、2人パーティーで上高地から涸沢に入山し、野営中の男性(44歳)が、28日、心肺停止状態で発見され、松本警察署山岳遭難救助隊員が出動し、県警ヘリで救助しましたが、死亡が確認されました。						
4月28日	中央アルプス 浄土乗越	男	26	無事救出	その他	4人パーティーで浄土乗越から千畳敷に向けて下山中、装備不足により行動不能
		男	25	無事救出	その他	
		男	25	無事救出	その他	
		男	51	無事救出	その他	
28日、日帰り予定で入山し、乗越浄土付近を千畳敷に向けて下山中の男性4人(26歳、25歳、51歳、25歳)が装備不足等により行動不能になる山岳遭難が発生し、パトロール中の駒ヶ根警察署山岳遭難救助隊員、中央アルプス地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
4月28日	入笠山	女	64	負傷	転倒	3人パーティーで山頂から下山中、バランスを崩し、転倒、負傷
28日、3人パーティーで入笠山を山頂から下山中の女性(64歳)が浮石でバランスを崩して転倒し、負傷する山岳遭難が発生し、諏訪広域消防本部特別救助隊が出動して救助しました。						
4月29日	八ヶ岳連峰 白駒池	男	26	負傷	転倒	4人パーティーで白駒池付近を散策中、スリップし転倒、負傷
29日、4人パーティーで八ヶ岳連峰白駒池付近を散策中の男性(26歳)が、圧雪路で滑って転倒し、負傷する山岳遭難が発生し、佐久広域消防本部の消防署員が出動して救助しました。						
4月30日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	63	死亡	不明	単独で常念岳から蝶ヶ岳に向けて登山中、何らかの原因で行動不能
30日、北アルプス蝶ヶ岳の登山道に何らかの原因で心肺停止状態にて倒れている男性(63歳)が発見され、死亡が確認されました。						
4月30日	金峰山	男	68	負傷	転倒	2人パーティーで山頂から下山中、足を滑らせて転倒、負傷
30日、2人パーティーで金峰山に入山した男性(68歳)が、下山中に木製階段で足を滑らせて転倒し、負傷する山岳遭難が発生し、佐久広域消防本部員が出動して救助しました。						

5月1日	北アルプス 北穂高岳	男	81	無事救出	その他	単独で北穂高岳東稜を登山中、技量不足により、行動不能
1日、単独で北穂高岳東稜を登山中の男性(81歳)が、技量不足により行動不能になる山岳遭難が発生し、本人からの救助要請を受け、長野県警察本部機動隊山岳遭難救助隊員及び北アルプス南部地区山岳遭難対策協議会救助隊員が出動して救助しました。						
5月2日	北アルプス 槍ヶ岳	男	47	無事救出	その他	単独で槍ヶ岳山頂付近を登山中、装備不備により行動不能
2日、槍ヶ岳を登山中の男性(47歳)が、アイゼンが外れて紛失し、行動不能になる山岳遭難が発生し、本人からの救助要請を受け、北アルプス南部地区山岳遭難対策協議会救助隊員が出動して救助しました。						
5月2日	北アルプス 前穂高岳	男	52	死亡	滑落	前穂高岳奥明神沢を登山中、滑落
		男	64	負傷	滑落	
2日、北アルプス前穂高岳奥明神沢を登山中に滑落登山者に巻き込まれる滑落遭難が発生し、北アルプス南部地区山岳遭難対策協議会救助隊員及び県警ヘリ等が出動して救助しましたが、男性(52歳)の死亡と男性(64歳)の負傷を確認しました。						
5月2日	北アルプス 前穂高岳	男	54	死亡	滑落	単独で奥明神沢を行動中、滑落
2日、北アルプス前穂高岳奥明神沢付近を単独で行動中、滑落遭難が発生し、北アルプス南部地区山岳遭難対策協議会救助隊員及び県警ヘリ等が出動して救助しましたが、死亡が確認されました。						
5月2日	佐久市志賀 地籍岩場	女	70	負傷	滑落	3人パーティーでロッククライミング中、バランスを崩し滑落、負傷
2日、佐久市志賀の岩場で、仲間3名とロッククライミング中の女性(70歳)がバランスを崩して転倒、滑落する山岳遭難が発生し、佐久広域消防本部の消防署員らが救助しました。						
5月3日	北アルプス 焼岳	女	54	負傷	滑落	単独で焼岳から新中の湯ルートを下山中、滑落、負傷
3日、単独で焼岳から新中の湯ルートを下山中の女性(54歳)が、滑落、負傷する山岳遭難が発生し、県警ヘリで救助しました。						
						

5月3日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	24	無事救出	その他	単独で蝶ヶ岳から三股登山口に向けて下山中、技量不足により、行動不能
3日、単独で蝶ヶ岳から三股登山口へ下山中の男性(24歳)が、技量不足により行動不能となる山岳遭難が発生し、パトロール中の安曇野警察署山岳救助隊員が登山口まで同行下山して救助しました。						
5月3日	南アルプス 仙丈ヶ岳	男	22	無事救出	道迷い	2人パーティーで仙丈ヶ岳から下山中、道に迷い、行動不能
		男	22	無事救出	道迷い	
3日、仙丈ヶ岳に入山し、下山予定であった男性2名(いずれも22歳)が、ルートを誤って道に迷い、行動不能となる山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
5月4日	北アルプス 布引山	女	26	負傷	滑落	5人パーティーで鹿島槍ヶ岳から縦走中、滑落、負傷
4日、5人パーティーで扇沢登山口から入山し、鹿島槍ヶ岳を經由して縦走中の女性(26歳)が、スリップして滑落する山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
5月4日	北アルプス 北穂高岳	男	23	負傷	落石	3人パーティーで北穂高岳に向けて登山中、落石により、負傷
4日、3人パーティーで北アルプス北穂高岳へ登頂中の男性(23歳)が、落石に遭い負傷する山岳遭難が発生し、県警へりが救助しました。						
5月4日	高妻山	男	24	負傷	滑落	2人パーティーで高妻山から下山中、滑落、負傷
4日、2人パーティーで高妻山に入山し、下山中の男性(24歳)が、スリップして滑落、負傷する山岳遭難が発生し、県警へりで救助しました。						
5月4日	北アルプス 前穂高岳	男	63	負傷	滑落	2人パーティーで前穂高沢を下山中、滑落、負傷
4日、2人パーティーで前穂高沢を下山中の男性(63歳)が滑落し、シュルンド(クレバス)に転落する山岳遭難が発生し、北アルプス南部地区山岳遭難防止対策協会隊員が出動して引き上げた後、県警へりで救助しました。						

5月5日	北アルプス 奥穂高岳	男	71	死亡	滑落	2人パーティーで溜沢に向けて下山中、滑落
5日、2人パーティーで奥穂高岳に入山した男性(71歳)が、溜沢に向けて下山途中に滑落する山岳遭難が発生し、県警ヘリが出動して救助しましたが、死亡が確認されました。						
5月5日	八ヶ岳連峰 赤岳	女	79	無事救出	疲労	2人パーティーで赤岳から下山中、疲労により、行動不能
5日、2人パーティーで赤岳に入山した女性(79歳)が、赤岳から下山途中に疲労によりつまづいて転倒し、行動不能となる山岳遭難が発生し、茅野警察署山岳遭難救助隊員及び諏訪地区山岳遭難防止対策協会救助隊員が出動して救助しました。						
5月5日	北アルプス 槍ヶ岳	男	26	無事救出	その他	2人パーティーで槍ヶ岳から下山中、技量不足により、行動不能
		女	26	無事救出	その他	
5日、2人パーティーで槍ヶ岳に入山した男性(26歳)と女性(26歳)が、槍ヶ岳から下山する際、装備不備・技量不足により行動不能となる山岳遭難が発生し、長野県警山岳遭難救助隊員が出動して救助しました。						

令和5年(2023年)中の山岳遭難発生状況(令和5年(2023年)1月1日～5月7日)

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和5年(2023年)	77	12	3	39	38	92	54
内)単独登山	30	4	1	11	14	30	16
内)バックカントリー	15	3	2	6	9	20	11
令和4年(2022年)	53	9	1	25	28	63	35
前年同期比	+24	+3	+2	+14	+10	+29	+19
内)単独登山	+12	+2	±0	+6	+4	+12	+8
内)バックカントリー	-1	+1	+2	+1	-4	±0	+4

■山域別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～5月7日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	
北アルプス	槍穂高	11	14.3%	4	0	4	5	13
	後立山	12	15.6%	3	2	9	3	17
	その他	8	10.4%	1	0	2	5	8
	計	31	40.3%	8	2	15	13	38
中央アルプス	6	7.8%	0	0	5	4	9	
南アルプス	2	2.6%	1	0	0	2	3	
八ヶ岳連峰	20	26.0%	2	0	10	11	23	
その他の山岳	18	23.4%	1	1	9	8	19	
計	77		12	3	39	38	92	

■態様別発生状況(令和5年(2023年)1月1日～5月7日)

区分	件数	件数 比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	28	36.4%	6	0	23	1	30
転倒	12	15.6%	0	0	12	0	12
病気	4	5.2%	1	0	0	3	4
道迷い	11	14.3%	0	0	0	13	13
落石	2	2.6%	1	0	1	0	2
雪崩	3	3.9%	3	0	2	1	6
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	6	7.8%	1	0	0	8	9
不明・他	11	14.3%	0	3	1	12	16
計	77		12	3	39	38	92

■男女別・年齢別比率(令和5年(2023年)1月1日～5月7日)

区分	男性					(人) 比率	女性					(人) 比率	男女計	
	死者	不明	負傷	無事	計		死者	不明	負傷	無事	計		人数	比率
19歳以下	0	0	0	0	0	27 37.5%	0	0	0	1	1	7 35.0%	1	34 37.0%
20代	0	0	5	8	13		0	0	1	2	3		16	
30代	3	2	6	3	14		1	0	0	2	3		17	
40代	2	1	4	6	13	26 36.1%	0	0	2	1	3	8 40.0%	16	34 37.0%
50代	3	0	7	3	13		0	0	3	2	5		18	
60代	1	0	6	6	13	19 26.4%	0	0	1	1	2	5 25.0%	15	24 26.1%
70以上	2	0	2	2	6		0	0	2	1	3		9	
計	11	3	30	28	72		1	0	9	10	20		92	
比率	78.3%						21.7%							

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光部山岳高原観光課」mt-tourism@pref.nagano.lg.jp
までお寄せください。

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会＝

春の大型連休中の山岳遭難発生状況

1 発生状況(4月29日～5月7日)

	日数	件数(件)	人数 (人)	内 訳(人)			
				死者	行方 不明	負傷者	無事 救出
R1(2019) 4/27～5/6	10日	18(6)	21(6)	3(1)	0(0)	10(4)	8(1)
R2(2020) 4/25～5/9	12日	3(0)	3(0)	0(0)	0(0)	1(0)	2(0)
R3(2021) 4/29～5/9	11日	14(3)	15(4)	6(3)	0(0)	2(0)	7(1)
R4(2022) 4/29～5/8	10日	7(1)	7(1)	1(0)	1(0)	3(1)	2(0)
R5(2023) 4/29～5/7	9日	18(8)	21(9)	4(3)	0(0)	9(3)	8(4)
前年比		+11	+14	+3	-1	+6	+6

※()内は県警山岳遭難救助隊が常駐した槍・穂高連峰「涸沢」周辺の発生で内数

2 遭難の特徴

- (1) 山域別では、北アルプスで12件(約67%)の遭難が発生し、うち槍穂高連峰が8件
- (2) 態様別では、「滑落」が8件で最多。次いで「技量不足」が3件。「転倒」「疲労」が各2件
- (3) 年齢別では、30歳代以下が最多の9人(約43%)。次いで60歳以上が8人(約38%)

3 遭難事例

(1) 北アルプス前穂高岳における多重滑落遭難

5月2日、前穂高岳奥明神沢において3人が関わる滑落遭難が発生し、滑落を目撃した登山者から山小屋を介して通報があり、遭対協隊員及び県警ヘリが出動し、3人を救助。

(2人は死亡、1人は骨折等の重傷)

(2) 北アルプス槍ヶ岳における技量不足による行動不能遭難

5月5日、槍ヶ岳から槍沢を下山しようとした男女2人パーティーが技量不足のため雪渓を下山できず行動不能となっているところをパトロール中の県警山岳遭難救助隊員が救助要請を受理し、安全を確保しながら同行下山。